

満開を願い桜の剪定!



2月26日(日)9時から琥珀町内会と上柏木親交会 25名、高所作業車1台を使って長内川野中ダム上流の左岸堤防沿いの樹齢約70年になる桜の剪定作業を3年ぶりに行いました。

また、堤防沿いには平成15年10月から滝ダム環境美化協会で桜の植樹事業が進められ、今では桜のトンネルになるほどです。

今後は、河川敷の整備に期待し親水公園と共に歴史を感じながら散歩などを楽しめる通りになればいいと思います。

町民ソフトバレーボール大会開催

2月26日(日)第20回小久慈町民ソフトバレーボール大会が、コロナ禍の影響もあり3年ぶりに行われました。当初、年を追うごとに減る参加者の状況等から、やるかやらないかの議論が取りざたされていましたが一部関係者の熱意で実施することになりました。

当日の参加者は市民センター所長をはじめ主催者・共催者側として4名一般参加2名、カトレア10名の合計16名。年齢・男女別にじゃんけんし4チームによるリーグ戦を行いました。

チームの力が平均化されており白熱したとても楽しい試合となりました。最もびっくりした好プレーは、カトレアの若きアタッカーが放った強烈なスパイクを、センター長(ほぼ初心者)が見事に拾い上げた奇跡のような出来事。他の試合でも同様のプレーや、

ファインプレーがいくつもありましたが、センター長は注目を浴びるには十分すぎる他を寄せ付けない絶対的な秘策を持っていました。それは、最も打ちやすいはずのアンダーサーブを一生懸命に打つのですがなかなか相手コートに入らないことです。このギャップは皆に大うけでした。(笑)

今年の参加状況を見ると来年は止めざるを得ないと思っていましたが、盛り上がりを見せた大会にまた悩みがつつきます。(運営担当:カトレア記)



アタック



ユニカール教室開催

冬の運動不足を解消し、町民の交流促進を目的に小久慈市民センターでユニカール教室が開催されました。

教室は、1月20日から3月10日迄の毎週金曜日全8回開催、延べ人数180人を越える多くの方がユニカール教室に参加しました。

その中で、夏井とのユニカール交流(写真右)やお届けスポーツに参加してニュースポーツの囲碁ボールやラダーゲッターを行うなど寒さも忘れて楽しく交流しました。



参加者募集

桜ウォーキング

春の日差しになってきましたね。桜マップを思い出しながら参加しませんか。

日時 **4月16日(日)** 8:50 集合 9:00 出発

申し込み 4月12日(水)迄に小久慈市民センター(電話 59-3051)

集合場所 小久慈市民センターとしますが、①~③のうち好きな場所から参加できます。申込時にどこから参加するかお伝えください。

持ち物等 暖かく動きやすい服装・歩きやすい靴。飲み物。

その他 雨天中止

★ウォーキングコース

- ① 小久慈市民センター 9:00 出発
- ② 小久慈橋 9:45 頃
- ③ 堀内橋 10:15 頃
- ④ 滝ダムの上 ※上り坂ですが見晴らし良好
- ⑤ 岩瀬張公民館
- ⑥ 下日当公民館
- ⑦ 小久慈市民センター 12:15 予定
※参加者交流会(希望する方30分程度)



あなたの写真や動画で「小久慈の桜」をPRしませんか!

Instagromで小久慈の桜を撮影した写真や動画に、ハッシュタグ「#小久慈の桜」をつけて投稿するだけです。皆さんのお気に入りの「小久慈の桜」の写真で、小久慈のきれいな桜を県内、そして全国にPRしましょう。

※当日参加できない皆さんも、桜と一緒に記念写真を撮ってみたいはかがですか!

5年度の「三大事業」等は「平時」に戻します

— 敬老会(9/9予定)・運動会・文化祭を実施 —

1. はじめに 令和4年度はオミクロン株や変種の新型コロナウイルス感染症の感染防止策で殆どの活動は出来ませんでした。

政府の「マスク新指針」や「5類移行」の発表を受けて、まちづくり協議会では2月21日(火)の第9回役員会で「コロナ禍以降の平時の活動」について話し合いました。

2. 「平時に戻す」

話し合いでは、令和5年度の活動については「基本的にはコロナ前の平時に戻す」事としました。

しかし、令和元年以降の3年間は主な活動は出来なく、更に役員の変更等もあり、取り組みが継続していなかった事等から原則として、次による事としました。

※「従来(平時)の活動」を目指しつつも、現状の体制で出来る活動を取り組む [2頁へ続く]

※3月13日(月)からマスク着用は個人の判断!!

※5月8日(月)から新型コロナウイルスは、インフルエンザと同じ「5類」移行!!

小久慈

まちづくり通信

第77号

令和5年4月1日
小久慈まちづくり協議会広報委員会
久慈市小久慈町
21-47-14

小久慈市民センター
電話 59-3051

2頁記事

- ・三大事業実施
- ・未来づくり事業

3頁記事

- ・未来づくり事業

4頁記事

- ・桜の選定作業
- ・町民ソフトバレー大会
- ・ユニカール教室

3. 「三大事業」について

三大事業等全ての活動は令和元年以来「三年振り」の取り組みです。

※小久慈地区敬老会 9月9日(土) 予定

元年の敬老会では対象者の出席は約 150 名、来賓、町内会長、民生委員等約 40 名、スタッフ約 20 名で 200 人以上の皆さんが参加し、ステージのアトラクションや飛び入り等を楽しみ、最後の盆踊りを楽しみました。

出席者からは「普段会えない方と逢えて楽しい」「早く 75 才になりたかった」等の感想が聞こえ、「久しぶり～」と談笑していました。

今年も例年通りの小久慈敬老会を開催し、戦前戦後の厳しい時代を経て、現在の「住みよい小久慈」を創って戴いた先輩の皆さん達に喜んで貰いと思っています。

具体的内容は主管の女性部で相談して、5月のまちづくり役員会で決定することとしました。

※小久慈町民運動会

小久慈の町民運動会は、「市内唯一の町民運動会」です。準備や運営は、本部も町内会(チーム)も大変ですが、子供達や若い人達とも一緒に取り組み交流が出来る大切な小久慈の活動です。

主管の小久慈体育協会では3月末の役員会で、選手が参加し易い種目に改善する等、大幅に工夫・改善し、「取り組み易い町民運動会」を目指す事としました。

最終的には4月の体協総会で決定します。各町内の体協役員の皆さんは、体協総会へ多く出席するよう働きかけて下さい。

※小久慈町民文化祭

老連、体協、女性部、防犯部、センター、まちづくり事務局等の実行委員会方式です。

10月末の開催ですが、5月の役員会に向けて女性部等で検討し、決定していきます。

4. おわりに

令和5年度は「平時に戻す」を合い言葉に活動を開始します。

三大事業の他には「未来づくり事業」として「朝市」、「じゅうね」、「桜」、「カフェ」、「小久慈焼」等の事業、そして女性部、老人クラブ、体協、防犯、交通安全等各部の多くの活動を皆さんと一緒に「住みよい小久慈・戻って来たいと思う小久慈」を創るために「明るく・楽しく」取り組みましょう。

令和4年度 ふるさと未来づくり事業 全体チーム会議 3月17日開催

朝市チーム・桜チーム・カフェチーム・小久慈焼チーム・じゅうねチーム
5チームが頑張りました!! 皆さんも気軽に参加して下さい。

コロナ禍の影響を受けて、令和4年度のまちづくり協議会の活動も「三大事業」等多くの活動は中止せざるを得ませんでした。しかし、「住みたいと思うまち、戻って来たいと思う小久慈」を創る活動として、ふるさと未来づくり事業の5チーム(朝市チーム・桜チーム・カフェチーム・小久慈焼チーム・じゅうねチーム)は元気に活動出来ました。



●チーム活動のふりかえりと新年度の活動を発表! ●●●●●

●朝市チーム

令和4年度の「小久慈朝市」は天候に恵まれ町民の皆様のご協力をいただき、予定通り「5回の朝市」を開催出来ました。5回の朝市全体では「来場者(スタッフ含む)約1,720名」もの小久慈の皆さんが、出店者や来場者と交流することが出来ました。自家栽培の野菜や果物、お餅やお菓子等で「約170万円」が地域内で循環されました。

11月の最後の朝市では小久慈小学校のご協力を頂き、「朝市史上最大の600人」の皆さんで大賑わいとなりました。今年7月は「20回記念朝市」となりますので期待下さい。

●桜チーム

チーム発足時に「小久慈の桜の本数」を調査しその時点では814本が数えられました。地図に記し、写真も添付し「桜マップ」を作成し、官公庁や道の駅等に置いて貰いました。

昨年4月22日(金)には3年振りに、堤防沿いに滝ダムに向かって「桜ウォーキング」を開催しました。桜やホオノキの芽の指向性等の説明もあり楽しくウォーク出来ました。

新聞にもカラー写真で大きく報道されました。

●カフェチーム

設立時は「古民家カフェ」を目指しましたが、お店の確保等ハードルが高く、近年は小久慈朝市での「カフェコーナー」で自家焙煎コーヒーの販売にチカラを入れています。来場者からも「ここで自家焙煎コーヒーが飲めるとは思わなかった」と喜ばれています。

朝市直前にセンター調理室でメンバーが焙煎しています。皆さん要領が良くなったと報告されています。又、4年度は初めて「アイスコーヒー」に挑戦し新たなスタートを切りました。

●小久慈焼チーム

久慈への観光客に楽しんで貰おうとチームメンバーやセンター職員などが、毎年「5月連休前」「お盆前」に環境整理(草刈りや草刈り)を行い、11月には「秋仕舞い」として草刈り、枯れ葉、枯れ枝等の整理をし、「陶芸教室」を行っています。昨年の陶芸教室で7回目となり20名が参加し、作品は2月の「生涯学習の集い」(アンバーホール)に展示しました。

小久慈焼チームとしては「小久慈焼は今や世界の小久慈焼」と意気軒昂となり、ふるさと納税の返礼品も目指そうとの意見も出ましたが、現在既に返礼品に選定されているとのことでした。

●じゅうねチーム

日吉町の「紫波カイハツ生コン」様の裏側の畑地を約10アールお借りして、じゅうね(エゴマ)栽培を始めて2年目になります。

農業経験者が少なく、草取りや背丈以上に延びる「じゅうね」の収穫が大変です。ハウスで乾燥、脱穀し「エゴマ油」、「パウダー」、「実」、「じゅうね味噌」にして小久慈名物じゅうね餅」として朝市で販売しました。令和5年は作業終了後の収穫祭には温泉旅行で盛大な反省会を行おうと意見が出ています。

又、近所の皆さんにも植え付け・草取り・刈り取り等の作業のご指導をお願いしようと話し合われていまずので、見かけたら気軽にお出で下さい。

一緒にお茶を飲みましょう。



未来づくり事業を最初からご指導戴いている「いわて地域づくり支援センター代表理事」広田純一(岩手大学名誉教授)より、「各チーム共年々成長している。着実にレベルアップしている。意見を聞く、話し合う、要望に応える姿勢が良い。長くやっていると自分のペースになりがちだが、小久慈はニーズを聞いてやっている。自信を持って、今の調子で良い」そして「只一点、今楽しんで活動している事を若い仲間も集まり活動する機会をうまく創って欲しい」とお褒めと若い仲間創りへの意見を戴きました。

各チームでは令和5年度の活動についても話し合い、桜チームでは早速「桜ウォーキング」を4月16日開催します。各チームの活動に「誰でも、いつでも」ご参加下さい。